

議会ガイド



特産物直売所 **ピュア** 6月22日(土)オープン

6月22日(土)、中泊町特産物直売所「ピュア」がオープン。セレモニーでは、町内の保育所、幼稚園の園児が、遊戯などで花を添えた。また、店内は多くの人で賑わっていた。



第2回定例会 (平成25年6月)

目次	■ 第2回定例会	……………	P 2
	■ 一般質問	……………	P 4
	■ 第3回臨時会	……………	P 7
	■ 議会の動き	……………	P 8

野上憲幸議長から

沖崎勲新議長へバトンタッチ

第2回 定例会

6月3日～
7日

平成二十五年第二回定例会が、六月三日から七日までの日程で開かれました。

開会日冒頭で、野上憲幸議長から議長辞職願が提出されたことに伴う議長選挙を行い、満場一致で沖崎勲議員が、新議長に当選しました。六日には一般質問が行われ、川山光則議員、荒関富雄議員、塚本悦子議員の三名が、町側の答弁を求めました。最終日の七日には、質疑、討論、採決が行われ、条例制定二件、条例改正や一般会計当初予算など議案十件、報告二件を、いずれも全会一致で可決、承認しました。



沖崎勲 新議長

補正予算

■一般会計補正予算第二号

国家公務員の給与減額措置に対応した職員人件費を減額した。また、その他の主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費

○新庁舎建設検討委員会設置 五十一万円

□民生費

○子ども・子育て支援事業計画策定 一七三三万円

□農林水産業費

○農業体質強化基盤整備促進事業 一六〇〇万円
○脇元割長根線林道改良工事 五七六万円

□土木費

○尾別地区国道取付道路改良事業 二五八四万円

○新公営住宅通路整備事業 一七〇〇万円

□消防費

○津波避難計画策定 五九五万円

■国民健康保険特別会計補正予算第二号

事業勘定の歳出は、システム改修費の追加。歳入は、繰入金及び財政調整交付金を追加。

診療施設勘定の歳出は、職員人件費を減額。歳入は、診療収入を調整のうえ計上。

■介護保険事業特別会計補正予算第一号

■特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第一号

■水道事業特別会計補正予算第一号

国家公務員の給与減額措置に対応した職員人件費を減額。

専決処分

■一般会計補正予算第二号

成人の風疹予防接種を実施するため、委託料九十九万円を追加。

■国民健康保険特別会計補正予算第一号

診療施設勘定において、歳入が歳出に不足したことに伴い、前年度繰上充用金、二五六七万円を計上。

条例関係

■インフルエンザ等対策本部条例の制定

新型インフルエンザ等対策特別措置法及び施行令の施行に伴い、新型インフルエンザ等対策本部について必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。

■町子ども・子育て会議条例の制定
子ども・子育て支援法の公布に伴い、子どもに関する施策について調査審議する機関として設置する必要があるため、条例を制定するもの。

■職員の給与に関する条例の一部改正
国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、職員の給与を減額するため、条例の一部を改正するもの。

■国民健康保険税条例の一部改正
国民健康保険法施行令及び地方税法の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの。

■青森県市町村退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更
黒石地区消防事務組合が脱退するため、それぞれの規約を変更するもの。

その他

■工事請負変更契約の締結について
小泊小学校校舎及び屋内運動場耐震補強工事について、仮契約を締結したうえで議会の議決を求めるもの。
契約額 四九八七万円

■青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更

■青森県市町村退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更
黒石地区消防事務組合が脱退するため、それぞれの規約を変更するもの。

県下町村議会議員研修会

7月11日(木)、青森市民ホールにおいて、県下町村議会議員研修会が開催され、当町議員団も参加した。政治評論家の浅川博忠氏を講師に招いた講演会では、「これからの政局・政治はこうなる！」と題し、参議院議員選挙後の政局・政治についてのお話をされました。



一般質問

- ・新庁舎建設のビジョンは
- ・小泊中と中里高校の今後は
- ・国道339号線の整備予定は



川山光則議員

Q 将来を見据えて今後のまちづくりと一体となったものが良いと思う。若い人を中心とした委員会を立ち上げて納得のできるように新庁舎をと思いが、当局の考えは。

A **小野町長** 三月に建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部改正案が閣議決定された。これが国会で可決

されれば、防災拠点建築物の耐震診断が義務化され、法律が実施されると現庁舎は使用不能となるものと覚悟している。本定例会に庁舎建設計画の策定委員会委員報酬を予算計上した。まちづくりや地域振興を十分考慮し計画してまいりたい。

Q 今の小学校一年から三年の生徒が中学生になるころには、小泊中学校全校で三十人から四十人くらいになると思う。今後のあり方をどう考えているか。

A **加藤教育長** 昨年の十一月に保護者の代表者を集まっていただいて協議した。結論は出なかつたが、PTAや保護者会でアンケート調査してもらいたいと要請した。アンケート結果

が出た段階で今後の進め方を考えていきたい。

Q 中里高校も、現状で小泊中の生徒が相当入っている。小泊中学校の生徒が少なくなれば、中里高校も少なくなっていく。

今後の存続に向けた知恵を出し合うべきと思うが、当局の考えは。

A **加藤教育長** 平成二十九年度あたりから、高校の再編計画の説明がされるものと思う。



小泊中学校

極めて厳しい状況であると考えている。子供たちが中高に入っているわけですので、校長たちとも話してみたいと思う。

Q 国道339号線の折戸脇元間の中間の整備について、国のほうに強く働きかけて、早期にすべきと考えるが、当局の考えは。

A **三上環境整備課長** 本年度ボーリング管の目詰まりを除去することを目的に洗浄を実施し、当区域の経過を観察しながら安全を確保するという県の考えである。管内市町建設担当課長会議において、再度実施要望していく。

・集落間の防雪柵の整備計画は
 ・若者と行政との関わり方は
 ・地域連絡バスの休日運行は



荒関富雄議員

Q

冬場の竹田集落、宮野沢地区の一部に生活道から基幹道への連絡にはどうしても防雪柵が必要なのではないか。宮野沢地区の防雪柵の設置について予算化されない経緯は。

A

■三上環境整備課長

防雪柵の要設置延長も大きなものとなり、設置には多額の費用が見込まれるので、財政当局との協議を重ね、車の流れや交通安全の確保等の検討

Q

昔は、行政と若い人たちのかわり多くがあったが、最近二十代、三十代の方と行政とのかわりが薄くなっていると思う。当局はどのように考えているか。

A

■小野町長

来年度、若手の人材育成を目的とした海外研修事業をアメリカニュージョーヤシー州コランフォードで行いたいと考えている。各産業に従事している若者を側面から支援していきたい。

Q

子ども議会の際に、子ども議員からの質問の中にもあったのだが、子どもが休日に図書館を利用する場合に交通手段がない。地域連絡バスの休日運行を考えているか。

A

■飯塚総務課長

昨年度行われた子ども議会において、小学校の生徒から、休みの日に両親が忙しいときは図書館等の利用ができないので、子どもたちが自由に利用

できるようなバスを運行してほしいという質問があったことから、地域連絡バスとは別に、子どもたちが休日に町の施設を活用できるようにスクールバス等を運行ができないか教育委員会と検討をしている。



町が平日運行している地域連絡バス



中里中学校で使われているスクールバス

・不妊治療費の助成を求める ・子ども・子育て支援新制度について

A ■小野町長
当町においてもここ七
年間で十九名の方が治療
を受けているとの報告を
受け、思っていた以上に
悩んでいる人がいること
を知った。政策の大きな
柱の一つに人口の増加策
を掲げており、不妊治療

Q
不妊治療並びに特定不
妊治療費を全額までとは
いなくても、せめて自
己負担額の2分の1でも
助成できないか。



塚本悦子議員

Q
費の助成について、少子
化対策の一環として実施
することを前提としてこ
れから検討する。

Q
制度を行うに当たって、
準備体制は盤石であるか。
また関係職員の理解度、
そして子ども子育て会議
は設置努力義務だが、設
置すべきと思う。その準
備状況、事業計画の検討
状況、そしてこの制度推
進に当たっての方向性は



中里保育所



小泊保育所

A ■富士福祉課長
子ども・子育て新制度
は、子どもと子育て家庭
を出産前の妊娠前から小
学校入学後の学童期まで
の期間に切れ目なく社会
全体で支援する新しい仕
組みが盛り込まれている。
町の準備体制としては、
今六月議会において中泊
町子ども・子育て会議条
例を制定後、早い時期に
子ども・子育て会議を設
置し、地域のニーズを把

握するための調査を実施
する。子どもの保護者、
教育、保育関係者等に従
事している人たちの意見
を組み入れ、その結果を
もとに五カ年計画を策定
する。今後制度管理シス
テムの導入も必要になる
が、財源は県の補助金を
活用して整備する。国、
県の動向を注視し、情報
を得ながら、今後さらに
理解を深めていくことに
し、子育て環境の整備を
し、少子化対策の一環と
なればと思う。

一般質問はインターネット・ライブ中継がご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館のロビーにも
テレビ中継されています。ぜひご利用ください。

HPアドレス <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>



第3回臨時会

4月25日

副町長に秋元良一氏を選任

平成二十五年第三回臨時会が、四月二十五日に開かれ、議案五件、報告五件が、いずれも全会一致で可決、承認、同意されました。また、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙も行われました。

専決処分

■一般会計補正予算第十
七号

地方譲与税等の確定、繰越明許費及び債務負担行為の追加、並びに地方債の変更に伴い、所要の予算補正を要するため専決処分したので、これを報告し、承認を求めるとの。

条例改正

■町税条例の一部改正
■町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正
■町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例

の一部改正

■町承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

人事案件

組替え、陶芸教室及びふれあい運動場トイレの修繕料など。

■町副町長の選任について

欠員となっている副町長に秋元良一氏を選任するにあたり、議会の同意を求めるとの。

■町監査委員の選任について

現監査委員の任期が平成二十五年五月十六日に満了となるため、後任の委員に葛西昭文氏を選任するにあたり、議会の同意を求めるとの。

■町教育委員会委員の任命について

現教育委員の任期が平

成二十五年五月十七日をもって満了となるため、後任の委員に加藤久宜氏、佐井川智道氏を任命するにあたり、議会の同意を求めるとの。

■町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

指名推薦により、次の方を当選人と定めた。委員

- ・田中 彰一氏
- ・葛西 譲氏
- ・山本 孝男氏
- ・臺丸谷 優氏

補充員

- 第一位 太田 京子氏
- 第二位 古川 秀志氏
- 第三位 鈴木 恭一氏
- 第四位 野上 茂樹氏

傍聴席は、 あなたの席です！！

中泊町議会 平成25年第3回定例会は、9月上旬です。
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成25年第2回定例会の傍聴者は、4名でした。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

4 月

20日 ぐるっとなかどまり味覚体験ツアー交流会
 23日 民生児童委員協議会総会
 24日 北五地区消防協会評議会総会
 25日 第三回臨時会

5 月

17日 西北郡町村議会議長会総会
 20日 民生文教常任委員協議会
 22日 議会事務局職員研修会
 27日 議会運営委員会
 28日 全国町村議会議長会研修会
 29日 全国町村議会議長会研修会

6 月

3日 第二回定例会開会日
 6日 定例会一般質問
 7日 単行案審議・採決・閉会
 22日 一般廃棄物最終処分場及び農産物加工直売施設
 合同落成式
 23日 五所川原市消防団定期観閲式
 24日 西北五広域福祉事務組合臨時会
 30日 中泊町消防団定期観閲式

議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 5月27日(月)

〈案 件〉

- 平成25年第2回中泊町議会定例会会期日程について
- 提出議案について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他

